

IDECは、若手が活躍する“都市計画”コンサルタント



氏名：むらもとけんぞう村本研三

入社年：2010年

出身学校：千葉大学大学院 工学研究科 建築・都市科学専攻

所属：東京支店 まちづくり・交通グループ

■現在の仕事内容

一昨年、都市計画に関連する法律が改正され、“立地適正化計画”なる制度が創設されました。この計画は、今後の人口減少・超高齢社会を見据え、未だ進行する市街地のスプロールに起因する都市の諸問題に対応し、コンパクトシティ等の持続可能なまちづくりを進めていくための指針となる計画です。現在は、自治体が策定するこの立地適正化計画の作成支援業務を主に担当しています。

具体的には、人口集積、公共交通や商業・医療施設等のサービス状況、都市基盤の整備状況等を視ながら都市の“今”の状態を診断し、人口減少・高齢化が進む“将来”に起こりうる諸問題を客観的なデータを用いながら分析します。このような現状把握や課題分析を通じて、今後のまちづくりの方向性や課題対応に向けた施策等を検討・提案しています。

■仕事のやりがい・エピソード

入社して6年が経ちますが、入社して以来3年在籍した名古屋支店ではコミュニティバスの新規路線の運行計画案の作成（ワークショップで市民と一緒にバス停の位置を決めたり、バス停や時刻表のデザインなども担当）、東京支店転勤後は仙台支店とタッグを組んで被災自治体の公共施設の再編計画や、上述の立地適正化計画のような最先端の業務を経験してきました。

様々な場所を舞台に、幅広い業務に携われること、また若手でも常に新しいことに挑戦できるのが IDEC の大きな魅力であり、仕事のやりがいと感じています。

■この会社に決めた理由

一般にこの業界は土木分野全般を手がける“建設コンサルタント”と呼称されますが、IDEC は“都市計画コンサルタント”として広く認知されている「都市計画」に強みを持つ会社であり、それが入社での大きな決め手でした。学生時代は千葉県の団地再生などをテーマに研究活動に励み、都市計画に携わりたいという思いがありましたので、現在もその頃に学んだことの延長線上で仕事ができている

▼海外研修先フライブルグ（ドイツ）の様子



点で非常に満足しています。

また IDEC では公募型の海外研修制度があり、昨年はこの制度を活用し、2週間にわたり持続可能な都市づくりを進めている欧州（ドイツ、フランス、イギリス等）の先進都市を視察し、見聞を広げてきました。同期は私を含め3名いますが、全員研修制度を既に活用しており、若手社員の自己成長や技術研鑽に対して手厚いサポートがあるのも IDEC の魅力の1つです。

■学生へのメッセージ

日本は先進国のなかでも人口減少・高齢化の課題に真っ先に直面する「課題先進国」と言われており、IDEC では、都市計画の分野でこの課題に取り組んでいます。話は変わりますが、IDEC のフットサル部にも高齢化の波が押し寄せており、担い手が少なく危機的な状況です。皆さんもこれらの課題に挑戦する IDEC の一員として、一緒に楽しく働きませんか？

▼IDEC フットサル部の様子

